



平成30年 1月25日
国立大学法人 千葉大学

レジ袋が200円のタンブラーに変身！？

レジ袋を有料化した基金を使って学生が企画・デザインした
オリジナルタンブラーを大学生協で割引販売

千葉大学環境ISO学生委員会では、千葉大生協のレジ袋の有料化に伴う「れじぶー基金」を使って、学内に
向けた環境活動を展開しています。本年度は学生がデザインしたオリジナルタンブラーを**1月29日（月）**から
大学生協にて200円で割引販売します。

■オリジナルタンブラーについて

目的：教職員や学生のタンブラー利用を推進し、ペットボトル飲料の削減
を推進することで、ごみの削減に対する意識啓発を行うこと。

制作：環境ISO学生委員会の学生が企画し、学内でデザインコンペを行い、
学生から応募のあったデザイン案を採用しました。

仕様：容量420ml、耐熱温度-10℃～80℃
フタを閉めると漏れずに、飲む時はゆるめるだけという
水漏れしない設計が特長。2重構造で保温保冷効果あり。

価格：制作単価 672円 → **販売価格 200円** (税込)

制作個数：460個

販売開始：**1月29日（月）**



▲丈夫で厚みのある本体は使いやすく
持ち運びにも便利

■千葉大独自の「れじぶー基金」による割引販売の仕組み

- 千葉大学では環境ISO学生委員会の発案により、2006年度から大学生協に
おいてレジ袋の有料化（1枚5円）を実施しています。
- 現在、年間110万人以上が利用する千葉大生協の物販店舗におけるレジ袋
の購入は年間7,000枚程度で、平均購入率は0.5%未満です。
- これによりこれまでレジ袋の購入に充てられていたお金と、レジ袋の販売
収入を「れじぶー基金」として生協から拠出いただき、環境ISO学生委員
会が、レジ袋削減にご協力いただいた学内の学生や教職員に対し、オリジ
ナルエコグッズの割引販売や、太陽光によるイルミネーション、プラン
ター設置による緑化など、さまざまな環境活動を実施して還元しています。
- 今回もれじぶー基金から捻出して割引に充て、原価672円のタンブラーを、
学生にも買いやすい価格（200円）で販売します。



▲大学生協のレジにある
「レジ袋5円」の表示

■担当学生のコメント（石塚郁海・法政経学部2年・20歳）

「普段、ペットボトル飲料をよく買う方々が、この機会にタンブラーを持ち歩くようになることで、
ペットボトルの削減という環境負荷低減につながればと思っています。」

■千葉大学環境ISO学生委員会とは

2003年千葉大学においてISO14001認証取得への動きが始まるとともに
発足し、環境マネジメントシステムの構築・運用に貢献。現在では、学内
の研修講師、目的目標実施計画の原案作成、内部監査、外部審査対応、環
境報告書作成、省エネ省資源・緑化・堆肥化等の活動、地域との連携、学
内への啓発活動などを担当。西千葉・亥鼻、松戸・柏の葉地区に分かれて
活動。2009年NPO法人格も取得し、地域社会での活動も実施。所属学生：
約200名。指導教員は倉阪秀史（千葉大学社会科学研究院 教授）

取材のお申込み・本件に関するお問い合わせ
千葉大学環境ISO事務局
TEL:043-290-3572
メール：kankyo-iso@office.chiba-u.jp